

審査において
こんな質問がされました

④ 庁内情報システム運用費
1億2486万円は大きな事業
費だが、市民サービスの向上に
つなげるのか。費用対効果は。

⑤ RPA、* AI-OCRや
議事録作成支援システムの導
入費用等業務の効率化を図る
ため、大きな予算となった。

実証実験の結果からICT機
器の導入により業務時間の大
幅な短縮を見込めた。業務の
自動化により、これまでに職
員が事務や処理件数の多い入
力作業などに費やした時間を
生産性の高い業務に充てるこ
とができる。職員でなければ
できない付加価値業務に注力
できる環境を作ることが、市
民満足度の高い行政サービス
の提供につながっていく。シ
ステムの契約が今後5年間で
あるので、費用対効果につい
てはその中で検証していく。

④ コミュニティバスのデマン
ド試行運行の体制と検証、分析
の方法は。

⑤ 業者に委託し、2路線に
おいてデマンド試行運行を実
施する。予約があった便のみ
運行を行う。検証及び分析方
法は、路線別及び便別の利用
者数や停留所ごとの乗降者数、
運行の課題や利用者の声など
について委託業者から報告を
受け、運行状況を把握する予
定。また、職員が同乗して利
用状況の聞き取りを行うOD
調査や利用者アンケートも計
画している。これらの結果か
ら、地域公共交通網形成計画
に基づき、地域公共交通会議
で利用状況やニーズ等を検証
し、必要に応じて見直しや改
善を図っていく。

④ 情報伝達・避難体制対策事
業でハザードマップの作成にあ
たり、市民の意見は反映される

のか。ハザードマップの形状、
完成時期、部数は。

⑤ 地区防災会の会合等で市民
の皆さんの意見を伺う。縮尺1
万分の1から1万5000分
の1のA4版冊子である。完
成時期は県管理河川の浸水想
定の公表時期にもよるが、年
度末までに完成させ、令和3
年度に配布予定。部数は
2万4000部を予定。

④ 企業の誘致活動はどのよう
に行っているのか。

⑤ 令和元年度から静岡県東
京事務所企業誘致班に市職員
を派遣し、当該職員が行う首
都圏における企業訪問時に、



市内遊休地情報の提供を行っ
ている他、企業の動向を情報
収集している。引き続き、市
内の遊休地情報を市・県の
ホームページに掲載し、金融
機関・不動産業者等へ冊子の
定期的な配布を行う。また、
市内企業への訪問時に情報収
集を行う。

④ 農業振興地域管理事業の考
え方と進め方は。

⑤ 農業振興計画の見直しは、
10ヘクタール以上の集団的に
存在する農用地、土地改良事
業、又はこれに準ずる事業の
施工区域内にある土地を、優
良農地として維持することを
基本方針とし、概ね10年後の
あるべき農業を想定した計画
となるよう考えていく。10ヘ
クタール未満の一団で土地改
良事業の施工区以外の農地で、
市の総合計画等で位置付けら
れている具体的な開発予定地

* 「RPA」とは：「Robotic Process Automation」の略語で、パソコンなどを用いて行う一連の事務作業を自動化できるソフトウェアロボットのこと。
* 「AI-OCR」とは：AIは人工知能。OCRは紙文書をスキャナーで読み込み、書かれている文字を認識してデジタル化する技術。OCRにAI技術を加えたもの。